

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	サッカープログラム時は屋外で、定員に対して十分なスペースを確保している。コロナ禍において、プログラムを時間で分け、少人数で行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	法定の職員数を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	教室が入っている建物はバリアフリーではないが、プログラム実施時は、使いやすいよう配慮している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	週一回、職員会議を行い、より良い運営、支援について話し合っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	利用の際やモニタリングの際に保護者の意向をヒアリングしている。保護者向けアンケートは今年度より実施する。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	毎年ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者評価は行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	社内でセルフ研修を行っている。また、有益な知識や情報を共有している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	保護者や利用児童からのヒアリングやアセスメントを実施しモニタリング、個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	アセスメントツールは使用していない。令和3年度よりツールを活用予定。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	指導員間で話し合い立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	毎日、指導員間でプログラムの振り返りを行い、日々よりよい支援に努めている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	長期休暇中も、基本的に同じプログラムを行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	サッカープログラムにおける集団活動がメインであるが、個別支援のためのプログラムも提供している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	毎日、ミーティングを行い、児童の様子やプログラムの共有をしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	翌日の打ち合わせの際に前日の支援の振り返りを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	毎日のプログラム内容、子供たちの様子を記録し、今後の支援の参考にしている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	日常的に子供たちの話を聞くとともに、保護者へのヒアリングを行い、定期的なモニタリングを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	集団プログラムと個別支援を組み合わせている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	セルフプランが多く、サービス担当者会議は開催されていない。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	今年度はほとんど行われていない。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	利用中の児童の中に医療的ケアが必要な児童はいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	ほとんど連携はとれていない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	卒業後に通う施設から情報提供の依頼があれば積極的に協力したいと考えている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	されていない。研修の機会があれば積極的に参加したい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	様々な障がいのあるサッカーチームとの交流を行っている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	機会がなく、参加していない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	対面やメール・LINEなどで必要な共有は行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	ペアレントトレーニングは行っていない。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約の際に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	相談があれば積極的にサポートするようにしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	特別な支援は行っていない。今後はそういう機会を持ちたいと考えている。

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情があった際には丁寧に対応し記録を残している。第三者の苦情対応窓口を設けている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	メールやSNSで一か月の予定やプログラムの内容を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	個人情報に係る書類は施錠できるキャビネットに保管し、パソコンにはパスワードをかけている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	児童の特性に合わせたコミュニケーションをとっている。保護者とはメールやSNS活用している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	機会がなく行っていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	各種マニュアルを作成し、職員と共有しているが、保護者には周知されていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	必要な備品を備え、定期的な避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	マニュアルを作成し、職員間で共有すると共に、外部研修にも参加している。(令和2年度は実績なし)
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	契約書に記載し説明を行っている。現時点で、支援計画に記載が必要なケースはない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	食事、おやつ等の提供は行っていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で回覧している。